



第67回 日本ウイルス学会学術集会 市民公開講座

HTLV-1による ATL患者として

参加費
無料



浅野 史郎

講演 浅野 史郎

(神奈川大学特別招聘教授・前宮城県知事)

司会 倉根 一郎

(国立感染症研究所 前所長(名誉所員))

日時 2019年10月29日(火) 16:00~17:00

会場 タワーホール船堀 5階「大ホール」

〒134-0091 東京都江戸川区船堀4-1-1 都営新宿線「船堀駅」下車徒歩1分

◆講演内容

2009年5月、ATLの急性型が発症。抗がん剤治療ののち骨髄移植(同年12月)を経て治癒、2010年2月退院。

母親からの母乳感染、61年の潜伏期間を経ての発症。ウイルス感染は日赤仙台血液センターでの献血の際に判明。その後の定期的チェックにおいて発症を告知。究極の早期発見・早期治療。ウイルス関与のがんとして世界初例。HTLV-1のウイルスの発見はHIVの発見につながる。今、「ATLになってよかった」と思っている。

※成人T細胞白血病(ATL)とは:

成人T細胞白血病(ATL)は、幼少時に母乳を介し母親から感染したヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)キャリアにのみ発症する。ATLはHTLV-1キャリアに5~10%の頻度で発症し、2年以内にほとんど死亡する。全国のキャリア数は約100万人、ATL発症数は年間約700例といわれる。ATLの治療は依然としてはかばかしくなく、ATLの予防には感染予防が最善の方法と思われる。(国立感染症研究所 ホームページより一部抜粋)

※日本ウイルス学会とは:

日本ウイルス学会(にほんウイルスがっかい)は、日本における微生物、特にウイルスにおける研究・調査に関わる学術機関であり、日本医学会及び日本微生物学連盟加盟学術団体である。基礎から臨床まで幅広い分野のウイルス研究者が参加しており、会員数は約2500名、1953年設立。ウイルスの病原性、遺伝子解析、予防・治療法等の研究活動を行っている。

参加方法 先着入場順300名、どなた様でも聴講いただけます。

- 1) 市民公開講座開催前に会場へお越しください。受付でお名前とご住所を記入頂きます。
- 2) 当市民公開講座は第67回日本ウイルス学会の学術集会プログラムの1つとして開催されますので、学会参加者とともに聴講頂きます。受付開始は15:30を予定しております。受付終了後会場内にお入りください。

主催: 第67回日本ウイルス学会学術集会

第67回日本ウイルス学会学術集会運営事務局

〒106-0031 東京都港区西麻布3-1-17 ブルーリッジ株式会社内

TEL: 03-6455-4338 FAX: 03-6455-4339 E-mail: jsv67@blue-ridge.jp